



日本触媒

株主のみなさまへ

# 第107期(中間)営業のご報告

2018年4月1日～2018年9月30日

## 株式会社日本触媒

証券コード 4114

目次	
長期ビジョン・目標	1
企業理念・経営理念、社是	1
ごあいさつ	2
連結業績ハイライト	3
セグメント別概況(連結)	5
連結財務諸表	7
トピックス	8
社会とのつながり	9
会社の概要	9
役員	10
株式の状況	10

## 後半中期経営計画「新生日本触媒2020 NEXT」

当社は、日本触媒グループ企業理念・経営理念、社是のもと、「2025年のありたい姿」の実現のため、長期経営計画「新生日本触媒2020」（2014～2020年度）を策定し、当初3年間の前半中期経営計画に続き、2017年度から後半中期経営計画「新生日本触媒2020 NEXT」をスタートさせ、計画達成に向けた取り組みを進めております。



2025年のありたい姿

### 人の暮らしに新たな価値を提供する 革進的<sup>\*</sup>な化学会社

- ・技術と創造力で、新しいことに挑戦し続けます
- ・No.1の製品や技術を増やし、グローバルに事業を行います
- ・最高水準の安全性と生産性を追求し続けます
- ・地球環境に貢献し続けます
- ・世界中の職場を多様性のある活気あふれる場にします

※革進：旧習・旧態を改めて、進歩を図ること（出所：大辞林）

セグメント：既存事業の強化を図りつつ、機能性化学品、新エネルギー、健康・医療、新規事業<sup>\*</sup>が収益に貢献し、成長事業・分野へのシフトが進んでいる。

※新規事業：当社未参入市場、次世代市場における新たな事業

エリア：日本国内にとどまらず、世界をマーケットとして事業展開をより一層加速している。

強み：研究開発力、生産技術力、マーケティング力を掛け合わせた総合力を強みとし、経営のリーダーシップによって、その総合力を最大に引き出している。

#### 日本触媒グループ 企業理念

## TechnoAmenity

私たちはテクノロジーをもって  
人と社会に豊かさと快適さを提供します

#### 経営理念

人間性の尊重を基本とします  
社会との共生、環境との調和を目指します  
未来を拓く技術に挑戦します  
世界を舞台に活動します

#### 社是

「安全が生産に優先する」

# ごあいさつ

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第107期中間期（2018年4月1日から2018年9月30日）の事業の概況につきご報告申し上げます。

## 当中間期の概況

当中間期における世界経済は、米国では景気回復が続ぎ、欧州でも緩やかに回復しているほか、中国を始めアジア新興国では持ち直しの動きが続くなかで推移しました。一方で、米国の保護主義的な通商政策による影響や原油情勢の動向など、先行きが不透明な状況が続きました。

日本経済は、設備投資が増加し、雇用情勢の着実な改善がみられるなど、景気が緩やかに回復しているなかで推移しました。

化学工業界におきましては、原料価格が上昇基調にあるものの、需要が底堅く推移するなど、事業環境は概ね堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当中間期の売上高は、原料価格や製品海外市況上昇に伴い販売価格を修正したことや、販売数量が増加したことなどにより、前年同期に比べて183億5千9百万円増収（11.5%）の1,773億9千5百万円となりました。

利益面につきましては、生産・販売数量が増加したことによる数量効果があったものの、販売価格よりも原料価格の上がり幅が大きくスプレッドが縮小したことなどにより、営業利益は、前年同期に比べて9億7千9百万円減益（△7.0%）の130億5千4百万円となりました。

営業外損益は、持分法投資利益の増加などにより、前年同期に比べて14億4千6百万円の増益となりました。その結果、経常利益は前年同期に比べて4億6千7百万円増益（2.8%）の171億9千1百万円となりました。

その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べて9億1千5百万円増益（7.6%）の129億2千8百万円となりました。

## 配当金について

当期の中間配当金は、前期中間配当金に比べて5円増配で中間配当金としては過去最高の、1株当たり80円といたしました。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

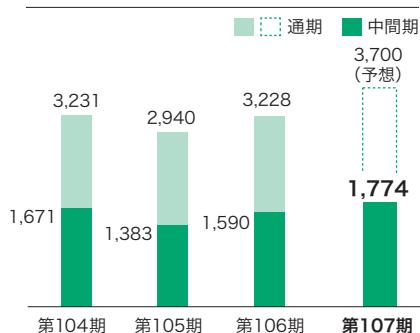
2018年12月

代表取締役社長 **五嶋祐治郎**

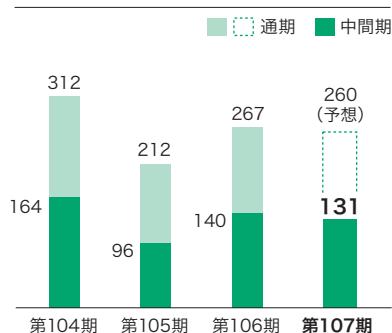
# 連結業績ハイライト

	第106期(中間)	第107期(中間)	前年同期比
売上高	1,590億円	1,774億円	+11.5%
営業利益	140億円	131億円	△7.0%
経常利益	167億円	172億円	+2.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	120億円	129億円	+7.6%
ROA(総資産経常利益率)	7.5%	7.3%	△0.2ポイント
ROE(自己資本利益率)	8.1%	8.2%	+0.1ポイント

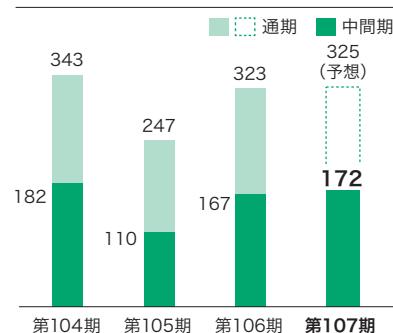
## 売上高(億円)



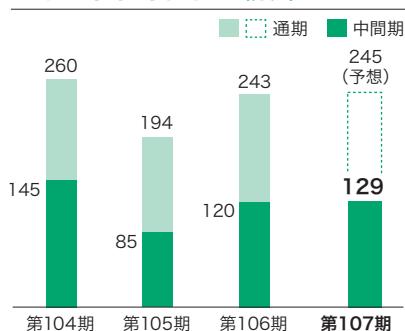
## 営業利益(億円)



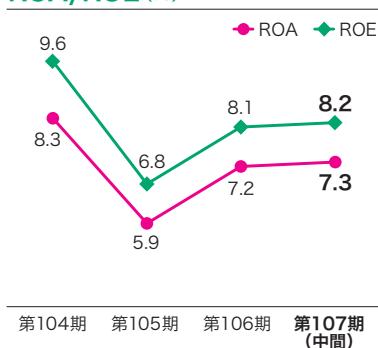
## 経常利益(億円)



## 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(億円)

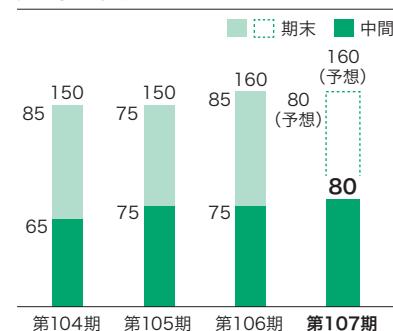


## ROA/ROE(%)



※第107期(中間)のROA及びROEは年換算しております。

## 配当金推移(円/株)

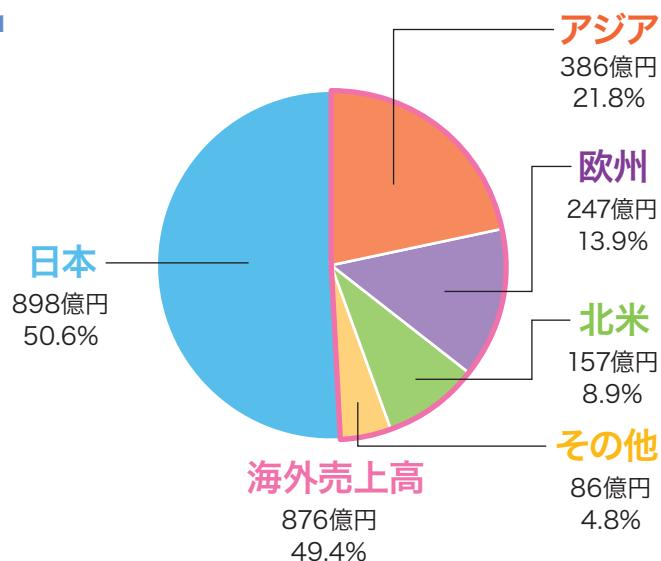
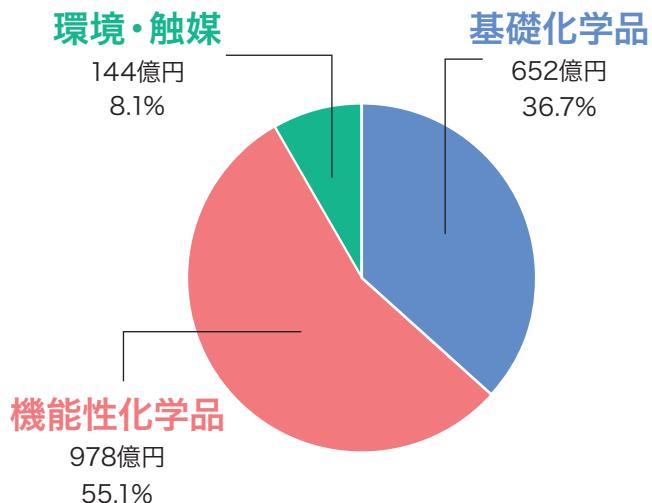


※2015年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。これに伴い、第104期の期首に株式併合が行われたと仮定し、表示しております。

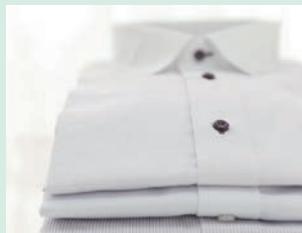
※第107期通期の業績予想等の数値は、2018年11月6日に公表したものです。実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの予想とは異なる場合があることをご承知おきください。  
 ※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第107期の期首から適用しており、第106期のROAについては当該会計基準等を遡って適用した後の数値で算定しております。

## セグメント別売上高／構成比

## 地域別売上高／構成比



### 基礎化学品事業



エチレングリコール (用途例: ポリエステル繊維)

### 機能性化学品事業



無水マレイン酸 (用途例: 自動車用ABS樹脂)

### 環境・触媒事業



プロセス触媒

#### 【主要営業品目】

- アクリル酸
- アクリル酸エステル
- 酸化エチレン
- エチレングリコール
- エタノールアミン
- セカンダリーアルコール  
エトキシレート

#### 【主要営業品目】

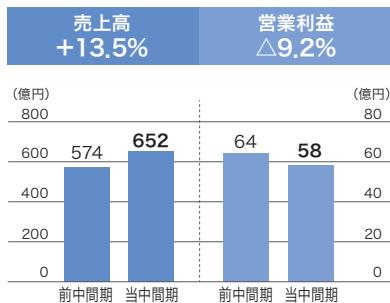
- 高吸水性樹脂
- 特殊エステル
- 医薬中間原料
- コンクリート混和剤用  
ポリマー
- 電子情報材料
- ヨウ素
- 無水マレイン酸
- 粘着剤・塗料用樹脂
- 粘着加工品

#### 【主要営業品目】

- 自動車触媒
- 脱硝触媒
- ダイオキシン類分解触媒
- 排ガス処理触媒
- プロセス触媒
- 燃料電池材料

# セグメント別概況(連結)

## 基礎化学品事業



アクリル酸及びアクリル酸エステルは、原料価格や製品海外市況上昇に伴い販売価格を修正したことや販売数量を増加させたことなどにより、増収となりました。

酸化エチレンは、原料価格上昇に伴い販売価格を修正したことや、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

エチレングリコールは、製品海外市況上昇に伴い販売価格を修正しましたが、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

エタノールアミンは、原料価格上昇に伴い販売価格を修正しましたが、販売数量が減少したことにより、減収となりました。



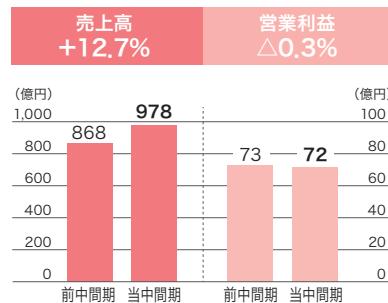
セカンダリーアルコールエトキシレート(用途例:台所用洗剤)

セカンダリーアルコールエトキシレートは、販売数量を増加させたことや、原料価格上昇に伴い販売価格を修正したことにより、増収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前年同期に比べて13.5%増加の651億7千2百万円となりました。

営業利益は、製品構成による数量効果がありましたが、スプレッドが縮小したことや、販管費が増加したことなどにより、前年同期に比べて9.2%減少の58億1千6百万円となりました。

## 機能性化学品事業



高吸水性樹脂は、原料価格上昇に伴い販売価格を修正したことに加え、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマー、洗剤原料などの水溶性ポリマー、塗料用樹脂、粘着加工品及び電子情報材料は、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

特殊エステルは、販売数量は減少しましたが、原料価格や製品海外市況上昇に伴い販売価格を修正したことにより、増収となりました。

無水マレイン酸は、販売数量は減少しましたが、販売価格を修正したことにより、増収となりました。

エチレンイミン誘導品及び樹脂改質

## 環境・触媒事業



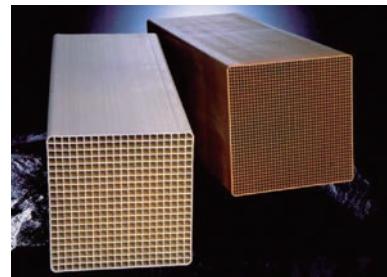
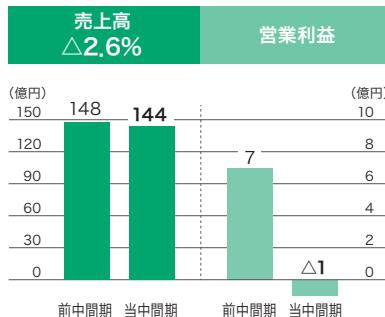
高吸水性樹脂（用途例：紙おむつ）

剤は、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

ヨウ素化合物は、販売数量は減少しましたが、製品構成などにより、増収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前年同期に比べて12.7%増加の977億9千1百万円となりました。

営業利益は、生産・販売数量が増加したことに加え、販管費が減少しましたが、スプレッドが縮小したことなどにより、前年同期に比べて0.3%減少の72億4千7百万円となりました。



脱硝触媒

自動車触媒は、販売数量は減少しましたが、貴金属価格が上昇したことにより、増収となりました。

脱硝触媒は、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

リチウム電池材料は、製品構成などにより、増収となりました。

プロセス触媒、排ガス処理触媒、湿式酸化触媒及び燃料電池材料は、販

売数量が減少したことにより、減収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前年同期に比べて2.6%減少の144億3千2百万円となりました。

営業利益は、プロセス触媒の販売数量が減少したことなどにより、前年同期に比べて7億6千万円減少し、9千2百万円の赤字となりました。

### 当社相談役・池田全徳、ベルギー王国から王冠勲章コマンドール章を受章

当社相談役の池田全徳が、ベルギー王国から王冠勲章コマンドール章を受章し、2018年9月27日、駐日ベルギー大使館にて授章式が執り行われました。同章は、外国の民間人を叙勲する同国の王冠勲章の中で最高位のもです。今回の受章は、当社のベルギー子会社NIPPON SHOKUBAI EUROPE N.V.での投資拡大やユミコ社との合併事業推進によるベルギー・日本間の経済関係発展への貢献などが評価されたことによるものです。



授章式にてギェンテル・スレーワーゲン駐日大使（左）と池田全徳相談役

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (百万円)

前 期 (2018.3.31現在)		当中間期 (2018.9.30現在)	
資産合計 467,386		資産合計 472,706	
流動資産 198,403	流動資産 197,287	流動負債 92,636	流動負債 91,251
固定資産 268,983	固定資産 275,418	固定負債 63,989	固定負債 57,895
有形固定資産 175,241	有形固定資産 179,555	株主資本 289,334	株主資本 298,916
無形固定資産 3,531	無形固定資産 3,589	その他の包括利益 累計額 17,937	その他の包括利益 累計額 21,625
投資その他の資産 90,211	投資その他の資産 92,275	非支配株主持分 3,491	非支配株主持分 3,018
負債・純資産 合計 467,386		負債・純資産 合計 472,706	
負債 156,624		負債 149,147	
純資産 310,762		純資産 323,559	

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当期の期首から適用しており、前期については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で算定しております。

## 連結損益計算書 (百万円)

科 目	前中間期 (2017.4.1 から 2017.9.30まで)	当中間期 (2018.4.1 から 2018.9.30まで)
売上高	159,037	177,395
売上原価	125,261	144,762
売上総利益	33,775	32,633
販売費及び一般管理費	19,742	19,579
営業利益	14,033	13,054
営業外収益	3,590	4,948
営業外費用	900	812
経常利益	16,723	17,191
特別利益	301	—
特別損失	395	22
税金等調整前四半期純利益	16,630	17,169
法人税等	4,599	4,152
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	88
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,013	12,928

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

科 目	前中間期 (2017.4.1 から 2017.9.30まで)	当中間期 (2018.4.1 から 2018.9.30まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,022	9,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,557	△ 12,536
財務活動によるキャッシュ・フロー	352	△ 6,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	492	589
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,309	△ 8,292
現金及び現金同等物の期首残高	51,700	51,612
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,414	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,595	43,320

# トピックス

## ベルギー子会社でアクリル酸及び高吸水性樹脂の新製造設備が完工

当社のベルギー子会社NIPPON SHOKUBAI EUROPE N.V.(NSE)で進めていたアクリル酸(AA)と高吸水性樹脂(SAP)の製造設備(それぞれ生産能力10万トン/年)の建設が完工し、2018年10月2日、現地敷地内で完工式を執り行いました。

SAPは紙おむつの原料として世界的に需要が拡大しており、欧州においても中・東欧圏を中心に堅調な需要の伸長が見込まれています。従来、NSEではSAPのみを生産していましたが、今回のAAプラント新設により、欧州におけるAA・SAPの一貫生産体制が整いました。今回の新増設により、当社グループの生産能力はAA:88万トン/年、SAP:71万トン/年となり、SAPのグローバルな安定供給体制をより強化しました。

当社はコア事業であるSAPについて引き続きトップサプライヤーとしての地位をより強固にしております。



左からMr.Frank Beckx (Managing Director of Essenscia Vlaanderen)、Mr.Graham Beesley (CEO of INEOS Oxide)、Mr.Pieter De Crem (Secretary of State for Foreign Trade, Belgium)、林肇氏 (在ベルギー王国特命全権大使)、五嶋祐治朗 (当社代表取締役社長)

## GREENTECH Franceと化粧品向け天然素材における事業提携に関する覚書を締結

当社は、2018年10月17日、GREENTECH France (GREENTECH)と化粧品向け天然素材に関する包括的な事業提携を進めるための覚書を締結しました。

当社は、2017年からスタートした後半中期経営計画「新生日本触媒2020 NEXT」で新規事業のターゲットとするライフサイエンス分野での化粧品事業の創出に取り組んでおり、ニーズに対応した素材提供による早期の市場参入を目指しております。

GREENTECHは化粧品向け天然素材の大手メーカーであり、今回の覚書締結により、当社はGREENTECHグループの保有する天然素材製品のアジア圏での独占販売権を取得し、アジア圏でのマーケティング活動を開始する予定です。また当社が保有する天然素材の溶解性改善と安定性向上の技術を活用しGREENTECHの保有する天然素材の高付加価値化を目指した研究に加え、アジア原産植物からの有効成分の探索も進めてまいります。

さらに、お客様のニーズに迅速に対応できる体制を整えるため、日本での製造合併会社設立の検討を開始し、2018年度中の投資判断を予定しております。



左から高橋洋次郎 (当社取締役専務執行役員)、Mr.Jean-Yves BERTHON (GREENTECH CEO)、五嶋祐治朗 (当社代表取締役社長)、万木啓嗣 (当社化粧品事業準備室長)

～ 社会貢献活動 ～

**「生物多様性保全と日尼友好バンテン湾の森」づくりを開始**

当社は、中国に続く海外での新たな活動として、インドネシアでマングローブの植林を開始し、2018年9月13日に開所式を行いました。本活動は、エビ・カニ等の生息地確保や海岸線の浸食防止を目的とし、5年間で苗木3万本を植える計画です。

開所式には地元のスラン市長やバンテン州職員が出席され、五嶋社長による記念植樹、除幕式の後、当社及びグループ会社社員に現地の学生も加わり友好的な雰囲気の中で植樹しました。



**「日本触媒・水源の森」づくり10周年記念式典を開催**

兵庫県宍粟市赤西溪谷での活動が10周年を迎え、2018年10月27日、宍粟市長をはじめ関係者出席のもと記念式典を行いました。式典は、パートナーであるNPOひょうご森の倶楽部の皆様に当社社員のお子様からお礼の気持ち伝えるなど、和やかに進行了しました。また、記念植樹を行い、事業看板も新調しました。式典終了後は10年間の活動を振り返る記録写真を観覧し、参加者一同、今後の取り組みへの思いを新たにしました。



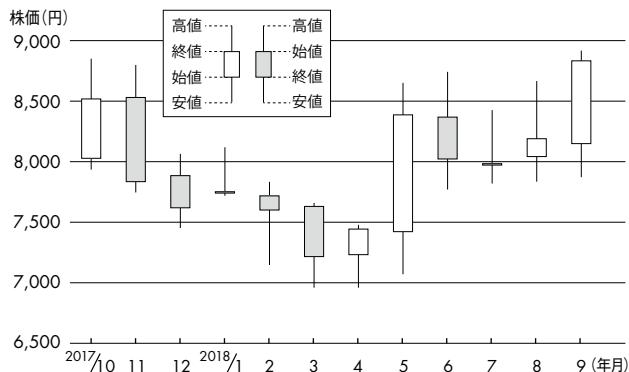
**会社の概要** (2018年9月30日現在)

商号	株式会社日本触媒
(英文表示)	NIPPON SHOKUBAI CO., LTD.
設立年月日	1941年8月21日
資本金	25,038,413,238円
従業員数	4,312名(連結)/ 2,331名(単独)
事業所	
大阪本社	〒541-0043 大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号 (興銀ビル) 電話 (06)6223-9111(総務部)
東京本社	〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目2番2号 (日比谷ダイビル) 電話 (03)3506-7475(東京総務部)
川崎製造所	
千鳥工場	〒210-0865 川崎市川崎区千鳥町14-1
浮島工場	〒210-0862 川崎市川崎区浮島町10-12
姫路製造所及び姫路地区研究所	〒671-1282 兵庫県姫路市網干区興浜字西沖992-1
吹田地区研究所	〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町5-8

## 役員 (2018年9月30日現在)

代表取締役社長	五嶋祐治朗
代表取締役専務執行役員	山本雅雄
取締役専務執行役員	高橋洋次郎
取締役常務執行役員	山田浩一郎
取締役常務執行役員	入口治郎
取締役執行役員	松本行弘
取締役(社外)	荒尾幸三
取締役(社外)	長谷部伸治
取締役(社外)	瀬戸口哲夫
常勤監査役	丸尾泰三
常勤監査役	有田義広
監査役(社外)	小松陽一郎
監査役(社外)	田口聡
常務執行役員	長砂欣也
常務執行役員	吉田雅也
常務執行役員	亀井輝雄
執行役員	荒川和清
執行役員	長谷部連群
執行役員	梶井克規
執行役員	渡部将博
執行役員	野田和宏
執行役員	小林高史

## ■株価の推移 (2017年10月～2018年9月)



## 株式の状況 (2018年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 普通株式 127,200,000株
- 発行済株式の総数 普通株式 40,800,000株
- 株主数 9,294名
- 大株主(上位10名)

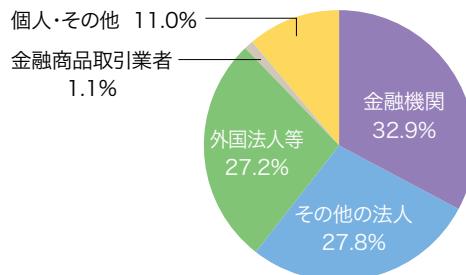
順位	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1	住友化学株式会社	2,727	6.84
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,299	5.76
3	JXTGホールディングス株式会社	2,129	5.33
4	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,481	3.71
5	全国共済農業協同組合連合会	1,383	3.46
6	株式会社りそな銀行	1,373	3.44
7	JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,278	3.20
8	三洋化成工業株式会社	1,267	3.17
9	株式会社みずほ銀行	948	2.37
10	東洋インキSCホールディングス株式会社	904	2.26

※1 当社が当中間期末において保有している自己株式921千株については、上記の表中から除いております。

※2 持株比率については、自己株式数を控除して算出しております。

※3 持株数及び持株比率については、表示単位未満を切り捨てております。

## ■所有者別分布状況



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

本営業のご報告中、注記しているものを除き、記載金額及び比率は表示単位未満を四捨五入しております。

## ■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
電子公告	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。なお、電子公告は当社ウェブサイトに掲載して行います。
公告の方法	

### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求、配当金の口座振込のご指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

## 当社ウェブサイトのご案内 (株主・投資家の皆様へ)

<http://www.shokubai.co.jp/ja/ir/>

日本触媒 IR



当社についての理解をよりいっそう深めていただけるよう、「ストーリーでわかる! 日本触媒」を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

## ささきしょうこ選手、今季2勝! 国内女子ツアー通算3勝!

当社所属のプロゴルファー・ささきしょうこ選手が、国内女子ゴルフツアー「スタンレーレディスゴルフトーナメント」と「樋口久子三菱電機レディスゴルフトーナメント」で優勝しました! 同選手の応援サイトを、当社ウェブサイト内に開設しています。ぜひご覧ください。



<http://www.shokubai.co.jp/ja/sasaki/>